

日本人間関係学会 第31回 全国大会 プログラム

大会テーマ：「With コロナ時代における対面コミュニケーションの重要性と人間関係の構築に向けて」

開催日：2023年9月9日（土）

（会場）西南学院大学 西南学院百年館 （p.8に地図あり）
福岡市早良区西新 6-2-92
（福岡市地下鉄空港線 西新駅 （1番出口から）徒歩5分）

（当日のプログラム＜概要＞）

- ・ 9:30～10:00 受付
- ・ 10:00～10:10 開会と諸案内
- ・ 10:10～10:20 開会挨拶
- ・ 10:20～11:20 シンポジウム（地域共生社会における人間関係のあり方）
- ・ 11:20～11:30 休憩
- ・ 11:30～12:50 特別企画：地域共生社会に向けた福岡市早良区西新の地域実践と会員交流（昼食含）
- ・ 12:50～13:00 休憩
- ・ 13:00～15:30 口頭研究発表・口頭実践発表
- ・ 15:30～15:50 学会賞・優秀賞・奨励賞選考委員会
- ・ 15:50～16:00 休憩
- ・ 16:00～16:30 総会、学会賞・優秀賞・奨励賞表彰式、次回全国大会案内
- ・ 16:30～16:40 閉会

(当日のプログラム<詳細>)

- ・ 9:30~10:00 受付 (BGM: 大会公式イメージソング「北風ロマンス」 楽曲提供: 山本絵夢 [東京シュガーキャッツ Vo.Gt.])

- ・ 10:00~10:10 開会と諸案内

総合司会

コーチング研修会社ドリームフィールド

ビジネスコーチ 鈴木満 氏

(日本人間関係学会理事)



- ・ 10:10~10:20 開会挨拶

大会委員長

西南学院大学 人間科学部

准教授 田中康雄 氏

(日本人間関係学会理事・

学会誌編集委員会委員長)



- ・ 10:20~11:20 シンポジウム (地域共生社会における人間関係のあり方)

<パネリスト>

- ・ 甲子園短期大学

学長・教授

早坂三郎 氏

(日本人間関係学会 理事長)



和洋女子大学

家政学部

教授 丸谷充子 氏

(日本人間関係学会

監事)



- ・ 社会福祉法人新生福祉会

理事長

山中康平 氏

(日本人間関係学会 監事)



<コーディネーター>

聖カタリナ大学

人間健康福祉学部

教授 釜野鉄平 氏

(日本人間関係学会

事務局次長)



「地域共生社会における人間関係のあり方（シンポジウム） <資料>」

（厚生労働省が進める地域共生社会）

厚生労働省は、地域共生社会の実現を掲げ、「ニッポン一億総活躍プラン」（平成28年6月2日閣議決定）や、『地域共生社会』の実現に向けて（当面の改革工程）（平成29年2月7日 厚生労働省「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部決定）に基づいて、その具体化に向けた改革を進めている。

（地域共生社会が必要となる背景）

日本において、地域共生社会が必要となる背景には、以下の主な内容がある。

- ① 高齢化や人口減少下の地域・家庭・職場という人々の生活領域における支え合いの基盤の弱体化
- ② 暮らしにおける人と人とのつながりの弱体化
- ③ 人口減による地域社会で社会経済の担い手の減少、それらを背景にした耕作放棄地や空き家、商店街の空き店舗などの課題の顕在化
- ④ 社会保障や産業などの領域を超え、地域社会全体を支えてく必要性
- ⑤ 対象者別・機能別に整備された公的支援において、様々な分野の課題が絡み合い複雑化し、対応困難ケースが生じていること

（地域共生社会とは）

地域共生社会とは、「制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会」を意味している。

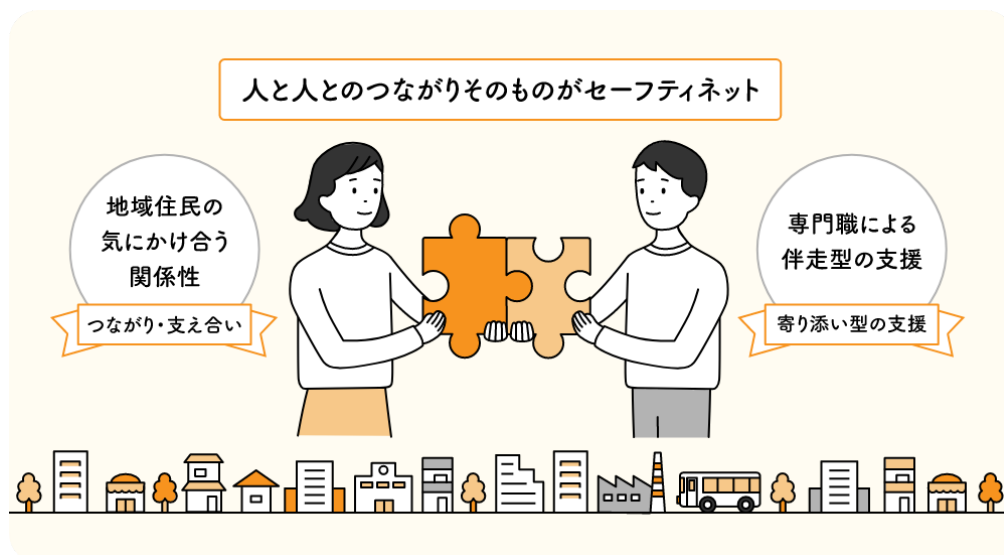


図1 地域共生社会における人と人とのつながりのイメージ図

出所：厚生労働省「地域共生社会のポータルサイト」, <https://www.mhlw.go.jp/kyouseisyakaiportal/>, 2022.12.17 アクセス.

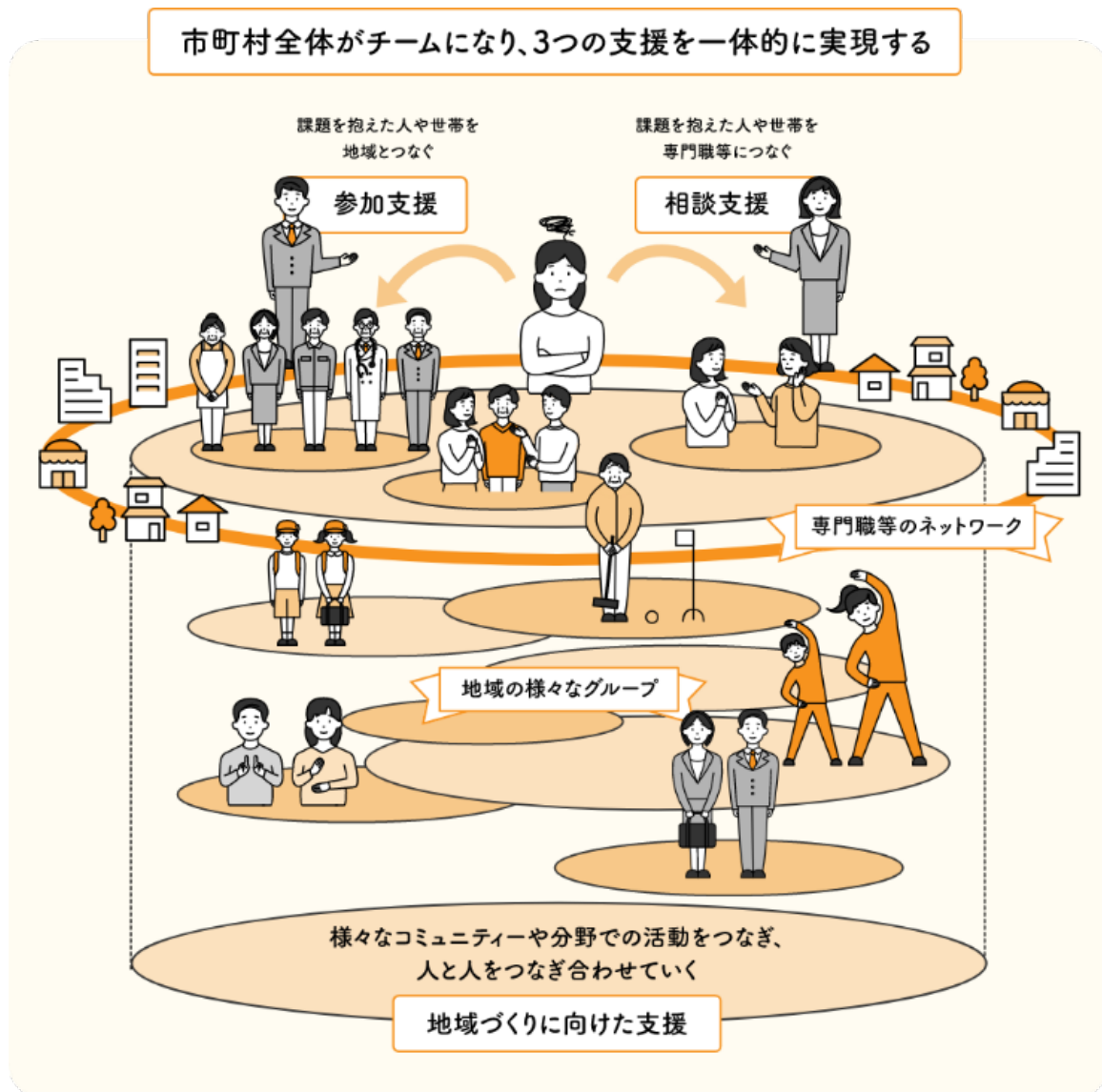


図2 地域共生社会における地域づくりのイメージ図

出所:厚生労働省「地域共生社会のポータルサイト」, <https://www.mhlw.go.jp/kyouseisyakaiportal/>,2022.12.17 アクセス.

(シンポジウムの目的)

地域共生社会の人が人とながら支え合う仕組みづくりの実現に向けた、人間関係の構築のあり方について、日本人間関係学会の研究者、実践家、各会員の視点を通した、シンポジウム形式で、模索する。

シンポジウムは、①子育て支援に関する心理学研究者の視点、②若年層に関する教育学研究者の視点、③高齢者に関する社会福祉実践家としての視点、を通して考察する。さらに、当日参加者の意見を踏まえることにより、日本人間関係学会の会員同士のつながりを通した、地域共生社会の人間関係あり方を示したい。

なお、パネリストは、①の和洋女子大学 丸谷充子教授、②の甲子園短期大学 早坂三郎教授、③の社会福祉法人新生福祉会 山中康平理事長をパネリストに迎え、コーディネーターとして、聖カタリナ大学 釜野鉄平教授が、当日参加者の意見を聴取しながら、ファシリテーターを行い、日本人間関係学会における地域共生社会の人間関係のあり方を考える。

・ 11:20～11:30 休憩

・ 11:30～12:50 地域共生社会に向けた福岡市早良区西新の地域実践と会員交流（昼食含）

<コーディネーター>

・ 周南公立大学
福祉情報学部 准教授
竹下徹 氏
(福岡県出身)



周南公立大学
福祉情報学部 准教授
牛島豊広 氏
(福岡市元在住)



※本企画では、会場校のある西南学院大学が所在する福岡市早良区西新の地域実践に向けて、歴史的背景や地域の特徴に触れ、併せて、実際に地域を会員同士が交流しながら、地域を散策し、地域を理解するプログラムである。

⇒なお、会場内では、コロナウィルス感染症対策のため、昼食等の飲食ができません。

代替として、本企画の地域散策の際、会員同士が交流しながら、地域の飲食店街にて昼食をとるプログラムとなっています。

「地域共生社会に向けた福岡市早良区西新の地域実践（本大会オリジナル企画） <資料>」

(地域を知る<福岡市早良区について>)

- ・ 基礎データ：人口 218,972 人、高齢化率 23.5% (2020 年 3 月末現在)。
⇒面積は 96 平方 km と 7 区の中で最も広く、人口は東区、南区、博多区に次ぎ 4 番目に多い。
- ・ 歴史：早良区のルーツは、大正期から昭和期にかけて福岡市に編入された西新町、原村、田隈村、金武の一部、早良町という旧早良郡を形成していた町や村が基。臨濟宗の祖、栄西（えいさい）が中国から持ち帰ったお茶の実を脊振山に植えたことから、早良区脇山は日本のお茶発祥地と言われる。
- ・ 早良区のまちづくりの目標・方向性：「お互いが支え合い安心して暮らせる」「特性を生かした魅力ある」「地域の魅力を生かした」まち
⇒校区安全・安心まちづくりの推進、災害に強いまちづくり、子育てしやすいまちづくり：子育て世代包括支援センターの充実（関係機関が連携して妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援の実施等
- ・ シーサイドももち：海岸の埋め立てによるウォーターフロント開発地区で、職・住・遊複合という近未来型の海浜都市環境の特性。福岡タワー、福岡市博物館、PayPay ドーム、百道浜ビーチがある。

(地域を知る<早良区の西新について>)

- ・西新の地名の由来：江戸時代、現在の中央区今川付近が「西町」と呼ばれていたのに対し、樋井川以西を「新西町」と呼んだことに由来され、これがいつしか逆転して「西新」という地名に
- ・西新の街の特徴：学生街として若者も行き交い、文教地区であることや、住みやすさから通勤族向けのマンションも多く、通勤族の街と呼ばれることも
- ・西新商店街：樋井川から藤崎の交差点まで続く約 1.5km であり、西新駅周辺から藤崎駅までの商店街を総称。リヤカー部隊で有名な西新中央商店街を始め、勝鷹水神(かつたかすいじん)通り商店街、ハトヤ新道商店街、はとや通り商店街、西新名店街、B-dish、中西商店街の7つの商店街を西新商店街連合会として組織し、280程の店が存在。

⇒リヤカー部隊：全国的にもその名を知られ、リヤカーに生鮮や自家製漬物、四季折々の魚介類や野菜などの食材を載せて販売。多い日には、10数台のリヤカーが歩行者天国になっている商店街に並ぶ
⇒全国の多くの商店街がシャッター商店街と呼ばれる中、全国的に見て空き店舗率が少ないのが特徴
⇒3万人近い歩行者が平日の西新商店街に訪れているとされ、東京のおばあちゃんの原宿と呼ばれる巣鴨地蔵通り商店街と同等の歩行者数ともいわれる。日本語、英語、中国語によるまちあるき MAP も



(画像 ©2018 Google、地図データ ©2018 Google、ZENRIN <https://www.reallocal.jp/57951>, 2022. 12. 26 アクセス)

- ・西新駅：天神駅・博多駅に次いで、福岡県内で第3位の乗車人員
- ・史跡：元寇防塁（げんこうぼうるい：文永の役（1274年）では元軍（モンゴル軍）が百道浜に上陸し、祖原、鳥飼、赤坂一帯が戦場となり、その後、鎌倉幕府が再度の来襲に備えて博多湾沿いの海岸、約 20 kmに渡って築かせた石塁であり、西新地区に現存

(本大会会場の西南学院大学の1号館の元寇防塁の写真)



・ 12:50～13:00 休憩

・ 13:00～15:30 口頭研究発表・口頭実践発表

・ 15:30～15:50 学会賞・優秀賞・奨励賞選考委員会

・ 15:50～16:00 休憩

・ 16:00～16:30 総会、学会賞・優秀賞・奨励賞表彰式、次回全国大会案内

・ 16:30～16:40 閉会

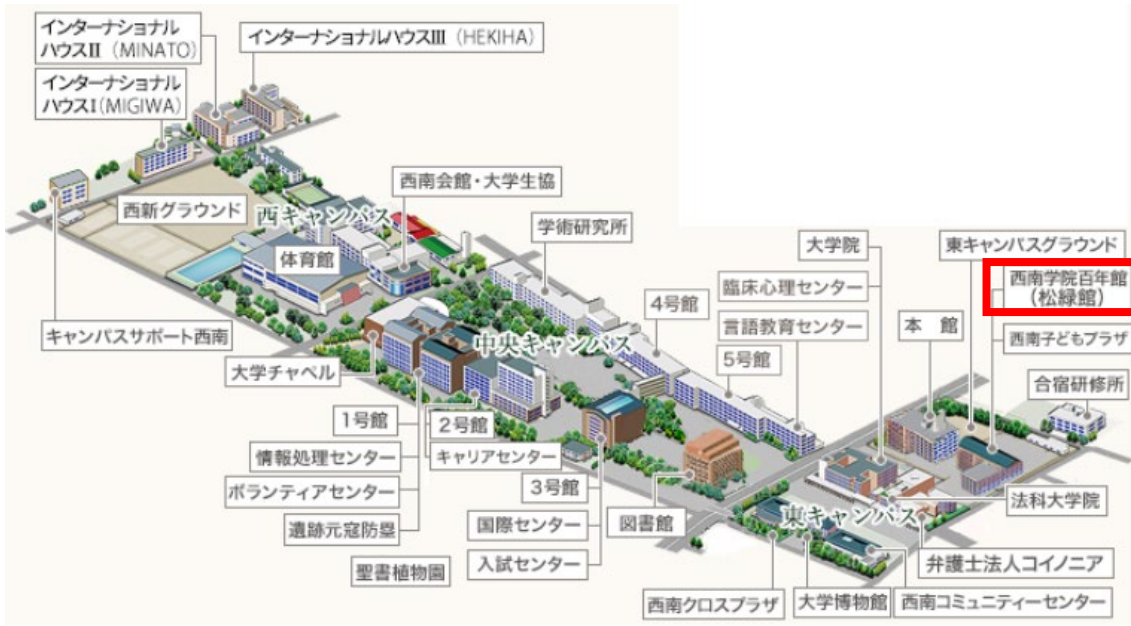
・ 16:40～17:00 片付・退出

<新型コロナウイルス感染防止対策について>

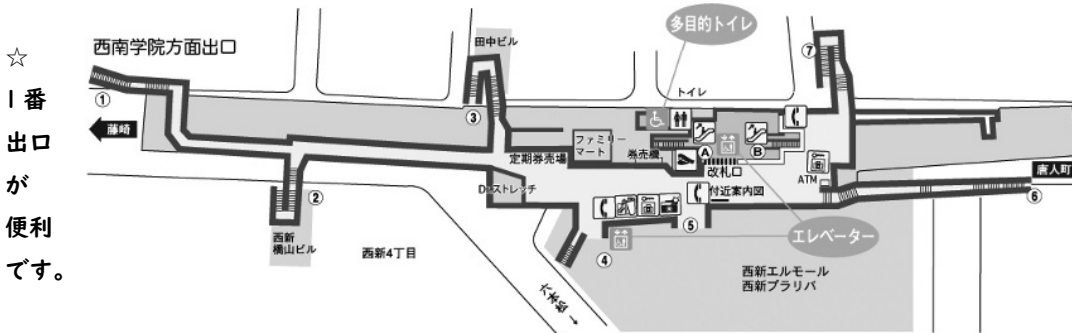
- ・ 会場内では、「不織布マスク」の着用をお願いします。
- ・ 開催日の5日前から健康観察をお願いします。
- ・ 健康状態に問題のない場合にご来場ください。
- ・ 大会当日、発熱、咳、くしゃみなど風邪の症状がある方、体調のすぐれない方は、ご参加をお控え下さいますようお願いいたします。
- ・ 受付で、手指の消毒を用意していますので、ご協力をお願い致します。
- ・ 新型コロナウイルス感染防止対策の為、会場内でのご飲食はご遠慮願います。
- ・ なお、昼食については、学内の食堂、大学近隣の飲食店をご案内します。
- ・ その際、「黙食」をお願い致します。
- ・ コロナ対策の一環として、クロークは設けません。
⇒ちなみに、西新駅の改札前にコインロッカーがございますので、ご利用下さい。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、プログラム内容等の変更の可能性がありますので、アナウンスや掲示、ホームページ等をご確認下さい。

(学内キャンパスマップ)



地下鉄 西新駅 1階コンコース Map



☆
1番
出口
が
便利
です。



(宿泊先について)

会場の西南学院大学(最寄駅:西新駅)は、博多駅から地下鉄で13分、福岡空港から18分の場所にあります。「西新駅の1番出口」から徒歩約5分です。

宿泊先としては、「博多駅」や「天神駅」がビジネスホテルやシティホテルが多く便利です。博多駅は、関東でいうと東京駅、関西でいうと梅田駅でビジネスっぽさがあり、天神駅は、関東でいうと新宿駅、関西でいうと難波駅でカジュアルさがあるというイメージをしてもらうとわかりやすいです。ちなみに、天神駅では、夜に屋台が出たり、東京の新宿・歌舞伎町、札幌のすすきのと並ぶ日本三大歓楽街の一つである中州エリアも徒歩圏内です。

宿泊先の案内はございませんが、上記を参考に、学会前後の福岡の街や地域性を堪能いただくと幸いです。

<第31回記念大会実行委員会>

大会委員長:田中康雄

実行委員: 牛島豊広、占部慎一、加藤誠之、釜野鉄平、黒木真吾、近藤絢子、佐々木かなこ、鈴木満、竹下徹、谷川和昭、近澤優子、仲田勝美、永野典詞、早坂三郎、藤田毅、丸谷充子、三好明夫、森千佐子、山中康平

(五十音順)

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、プログラム内容等の変更の可能性がありますので、アナウンスや掲示、ホームページ等をご確認下さい。

【お問い合わせ先】 日本人間関係学会 第31回 全国大会事務局
西南学院大学 学術研究所 田中康雄研究室
〒814-8511 福岡市早良区西新 6-2-92 TEL:092-823-4333 (研究室直通)
E-mail: 31zenkokutaikai@gmail.com (大会事務局)